

科 目 名		学年	
情報処理Ⅲ : Information ProcessingⅢ		4C	
教 員 名 藤本 勉 : FUJIMOTO Tsutomu			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	演習・前期
学修単位 ○			
授業概要 C言語のプログラミングを通じ、情報処理の基礎概念や基礎技術を学ぶ。授業の形態は教室で講義をおこない情報処理センターでプログラムの作成を行う。演習の結果は報告書にまとめてメールで送ることとする。教科書はハンドブック的に使用し、必要に応じて資料を配布する予定である。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
1. プログラムの編集、コンパイル、実行ができる 2. 入出力判断繰り返しを使用できること 3. 小さいプログラムの基本構成が記述できること 4. 報告書が書けること		評価方法は、①中間試験(35%)、 ②期末試験(35%)、③レポート(20%)および④自学自習によるレポート(10%)によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)①	JABEE基準1(1)
			(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	プログラミング入門1	プログラミングの環境とその操作方法
	第2	プログラミング入門2	開発言語の概要
	第3	プログラミング入門3	開発環境とその使い方
	第4	入出力関数の使用法	printf、scanf関数の使い方
	第5	繰り返し技法1	for、while、do文の使い方
	第6	繰り返し技法2	for、while、do文の使い方
	第7	繰り返し技法3	for、while、do文の使い方
	第8	演習1-1	for、while、do文を応用した演習
	第9	演習1-2	for、while、do文を応用した演習
	第10	条件による制御方法1	ifやswich文の使い方
	第11	条件による制御方法2	ifやswich文の使い方
	第12	演習2-1	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
	第13	演習2-2	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
	第14	演習2-3	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。	
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。	
関連科目		情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ	
教科書		C言語によるプログラミング基礎編(内田智史:オーム社)	
参考書		C言語によるプログラミング応用編(内田智史:オーム社)	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員		高田陽一	
備考			